

オッパニハー！

(クメール語で「大丈夫,問題ない」という意味)

尾道市立土堂小学校教諭 森下理奈

(派遣先)カンボジア バットンバン州 小学校教員養成校

私は「音楽・図工・体育の支援」という要請で赴任しています。今回は、カンボジアでのそれぞれの教科の現状と、私がどんな活動をしているのか、簡単に紹介したいと思います。

音楽



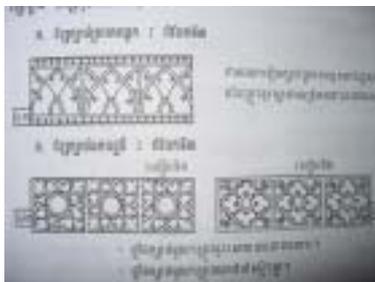
現状:「音楽」という教科はなく、「社会科」の中で扱われています。教科書には、伝統舞踊や伝統楽器が紹介されています。歌はカンボジアの曲のみで、楽譜はなく、歌詞のみが載っています。楽器指導はしません。小学校には、オルガンなど楽器は全くありません。踊りも歌も教師次第で、得意でない教師は教えていません。教えるとしても個々の教師の経験に頼った指導なので正確ではありません。



活動内容:各クラス月1,2回、鍵盤ハーモニカの授業をしています。初めて楽器を触る学生がほとんどです。初めてのドレミに指を震わせながら一つずつ押さえている男子学生、必死で吹きすぎて「口が痛い〜」と、それでも嬉しそうな女子学生。全員の音が揃ったらみんなで拍手！今は、メリーさんのひつじ等の簡単な曲の演奏と並行して、楽譜が読めるよう練習しています。今後は、カンボジアの曲も取り入れます。

図工

現状:音楽と同様、「図画工作」という教科はなく「社会科」の中で扱われています。主に、飾り文字・伝統的模様・模写を学び、いずれも正確に描くことを求められます。絵の具について学習する単元もありますが、実際に絵の具を使うことはほとんどありません。日本のように、想像したことや体験したことを自由に描くような授業はしていません。工作に関しては、色紙を使った飾り作りや折り紙はありますが、造形遊びや粘土、版画、立体物の製作など日本にある単元は全くありません。



社会科の教科書から、図工に関するページを抜粋。左から、「クメール語の飾り文字」、「伝統的模様」、「かぼちゃの模写」。



*クレヨンを使った活動の工夫



*展示の工夫



活動内容：各クラス月 1 回，“カンボジア式ではない図工”の紹介をしています。教員養成校なので，作品づくりと同時に「ねらい・指導方法・留意点」も説明し，ノートに書かせています。授業回数が少ないので，2，3クラスごとに内容を変え，外の掲示板に作品を展示することで互いに学び合えるようにしています。カンボジアでは作品を展示する習慣があまりないので，毎回様々な方法で展示し，“工夫した展示の仕方”も紹介するようにしています。

材料はカンボジアにある比較的安い物を用い，授業の時に「この絵の具は，どここの文房具屋に売っていたよ。」と一言添えることで，やろうと思えばできることを伝えるようにしています。今後は，彼らがポイポイと道ばたに捨てているビニール袋，ストロー，プラスチックコップなどの廃材を使った工作も予定しています。

「日本はお金も物もたくさんあるから何でもできる。カンボジアは何もないからできない。」と口癖のように言うカンボジア人。彼らが教師になったとき，実際に小学校で指導できるように，材料・指導法ともに工夫していきたいと思っています。

体育

現状：小学校では今年から週 2 時間実施することになりました。しかし，3 部制の学校では 1 日 3 時間しか授業ができない中で体育の時間を確保するのは難しく，やっていない学校も多いと聞きます。

教育省から示されている基本的な指導順序は，「体操 中心的な活動 ゲーム 体操」ですが，実際には“クメール体操”と呼ばれるラジオ体操のようなものばかり 1 時間することも多いです。

また，活動しやすい服に着替えさせる教師も稀にいますが，普通は制服のままでサンダルか裸足で行ないます。運動場や体育館はなく，セメントやでこぼこの土の上でしています。学校によって状況は異なりますが，ボール等の運動用具はほとんどなく，授業で用具を使った運動は行なわれていません。



活動内容：各クラス月 1 回，同僚の体育教師と共に授業をしています。活動先の体育教師は，運動やゲームに関する知識が豊富で，授業構成もしっかりしています。ですから，私は授業をするのではなく，事前に担当教員に日本での指導方法を紹介したり，一緒に授業構成やカリキュラムを考えたり，授業中は学生に声をかけて回ったりしています。

授業構成を考える際に気をつけているのは，“ちょっとした工夫”による「活動の広がり」と「運動量の確保」です。例えば，縄跳びを指導するとき，ただ前跳びを繰り返すだけでは子どもは疲れて，飽きてやめてしまいます。そこで片足跳びやあや跳び等様々な跳び方をしたり，2 人組・3 人組で跳んだり，新しい跳び方を考えたりするわけです。日本では当たり前のことですが，こちらではそういった“ちょっとした工夫”が求められているような気がします。

また，体育教師がいないときには私が授業をします。その時は活動そのもの以上に「時間を守ること」「人が話をしているときは静かに聞くこと」「全員が指示やルールに従うこと」を強調して伝えていきます。しかし，これがなかなか...



カンボジアの各教科の現状を，皆さんはどう感じられましたか？皆さんなら，どんな活動を展開しますか？次号では，私の，“現状の捉え方の変化”をお伝えしたいと思います。